

平成30年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：自動運転について

福岡県企画・地域振興部交通政策課

1 調査の目的

近年、運輸部門における運転手の高齢化や慢性的な不足により、バス路線の減便や廃止が相次いでいる。また、高齢ドライバーによる重大事故の増加を背景に、運面免許証の返納又は取消しを受けける方が増加している。

人やモノの移動を確保・充実させていくことは、地方創生の観点から重要であり、大きな課題である。このような課題を解決する手段のひとつとして自動運転の実現が期待されており、現在、国を中心に、地方自治体や民間事業者が自動運転の市場化に向けた取組みが実施されている。一方で、市場化に向けては、利用者である県民の社会受容性を高めておくことが重要となることから、県民の自動運転に対する考えや傾向（期待や懸念材料など）を把握する。

2 調査時期

平成 30 年 7 月 24 日～8 月 2 日（第 1 回）

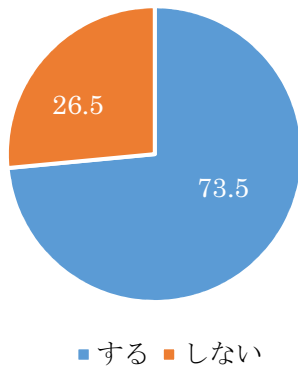
3 回答者の構成

		計	北九州	福岡	筑後	筑豊
総数	-	374 (100%)	90 (24.1%)	190 (50.8%)	54 (14.4%)	40 (10.7%)
性別	女性	216 (57.8%)	52	109	30	25
	男性	158 (42.2%)	38	81	24	15
年代別	20 代以下	57 (15.2%)	15	30	4	8
	30 代	95 (25.4%)	16	49	18	12
	40 代	83 (22.2%)	18	45	12	8
	50 代	63 (16.8%)	19	30	9	5
	60 代	49 (13.1%)	15	24	6	4
	70 代以上	27 (7.2%)	7	12	5	3

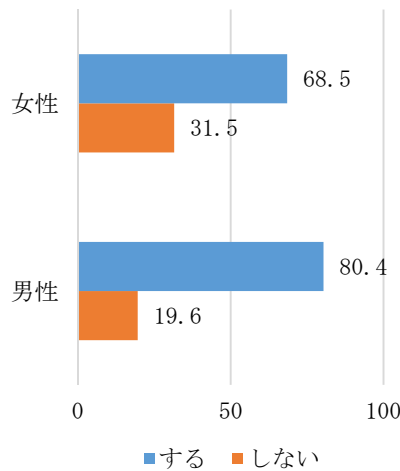
4 回答結果

問1 あなたは、日常生活において自動車を運転しますか。

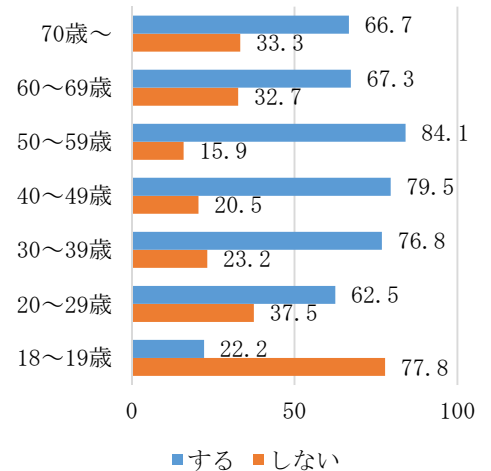
①全体 (n=374)



②性別 (n=男 158 女 216)



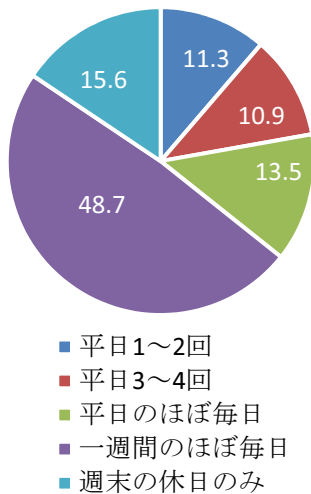
③年齢別



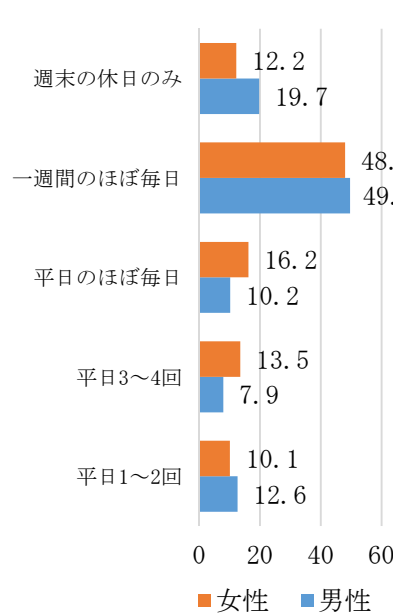
○全体では、7割以上の方は自動車を日常的に利用しており、自動車の依存度が高い。
 ○性別では、男性が女性に比べ利用する方が1割程度高く、女性の3割程度の方は利用していない。
 ○年齢別では、18歳～19歳の利用が少なく2割程度となっている。一方、20代以上ではおおよそ6割～8割の方が利用しているが、60代以上になると、利用しない割合が増加する傾向にある。

問2 一週間にどのくらいの頻度で自動車を運転しますか（問1で「する」と回答した方）。

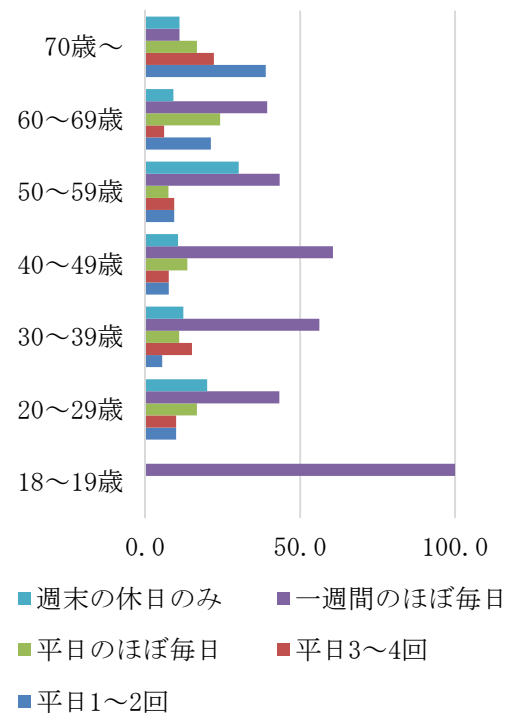
①全体 (n=275)



②性別 (n=男 127 女 148)



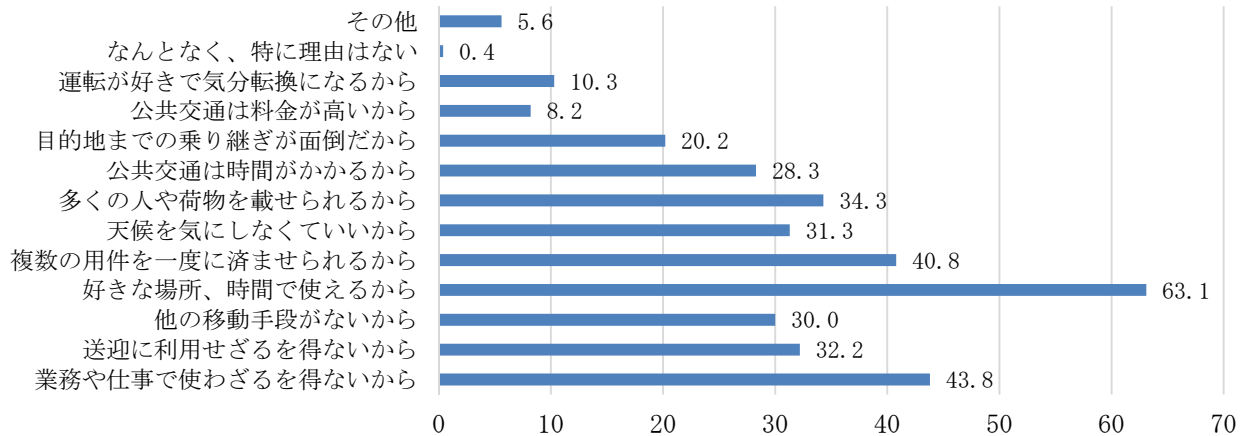
③年齢別



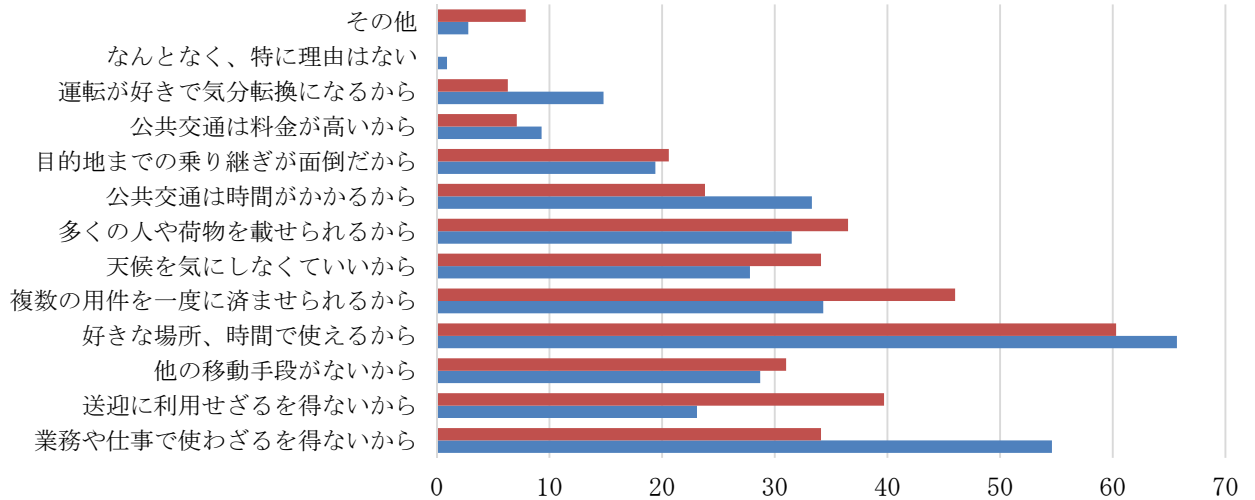
○全体では、自動車を一週間のほぼ毎日利用している人の割合が最も高く5割程度を占める。一方で、週末の休日のみ利用している人が2割程度存在する。
 ○年齢別では、60代までは一週間のほぼ毎日利用している人の割合が高い傾向にあるが、60代以上になると、平日に1回～2回利用している人の割合が他の年齢層に比べ高くなる傾向にある。

問3 自動車を運転する理由は何ですか（問1で「する」と回答した方）※4つまで選択

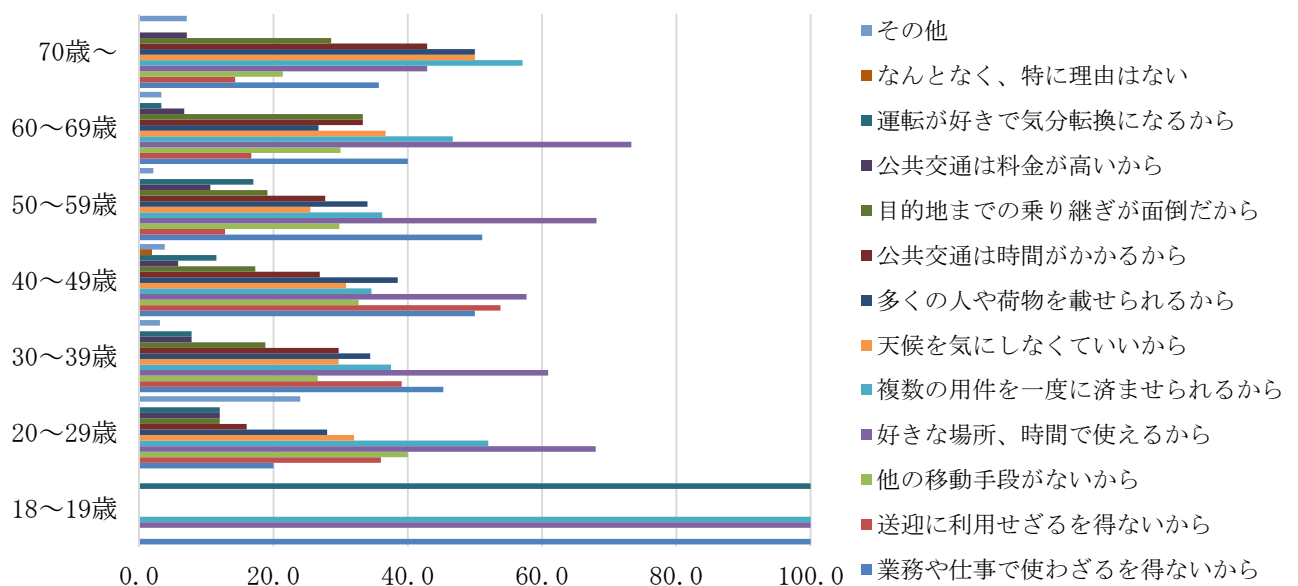
①全体（n=233）※無回答 42



②性別（n=男 108 女 125）※無回答 42



③年齢別



○全体では、好きな場所、時間で使えるからと回答した人が最も高く6割程度を占める。一方で、業務や仕事、送迎で使わざるを得ないと回答した人も3割～4割程度存在。

○性別では、業務で使わざるを得ないと回答した男性の割合が、女性に比べ2割程度高く、送迎で使わざるを得ないや、複数の用件を一度に済ませられるからと回答した女性の割合が、男性に比べ1割～2割程度高い。

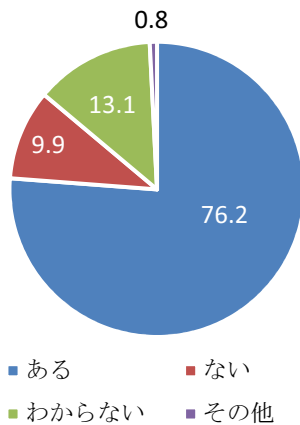
○年齢別では、20代～60代までは、好きな場所、時間で使えるからと回答した人の割合が高い一方で、70代以上では、公共交通は時間がかかるから、多くの人や荷物を載せられるからと回答した人の割合が、他の年齢層に比べ高い。

問3-2 問3で「その他」を選択した方の内容（抜粋）

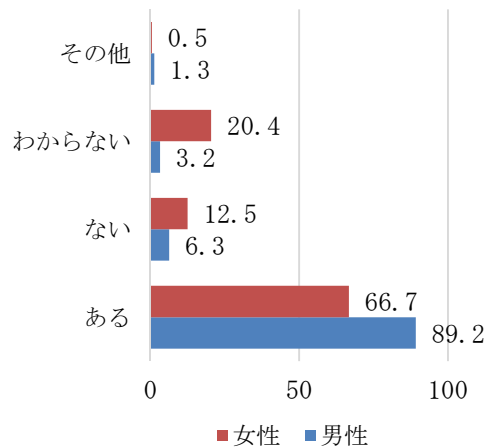
- ・小さい子どもがいるので、荷物を持って公共交通機関を利用すると大変だから。
- ・公共交通機関（特にバス）の利便性が極めて悪いため。
- ・最寄の駅にエレベーターがなく、子ども2人を連れてベビーカーでの移動が不便だから。
- ・最寄駅までのバスが不便。本数が少なく、乗換も必要。

問4 国では、自動運転社会の2020年代の実現を目指しています。自動運転社会の実現に関心がありますか。

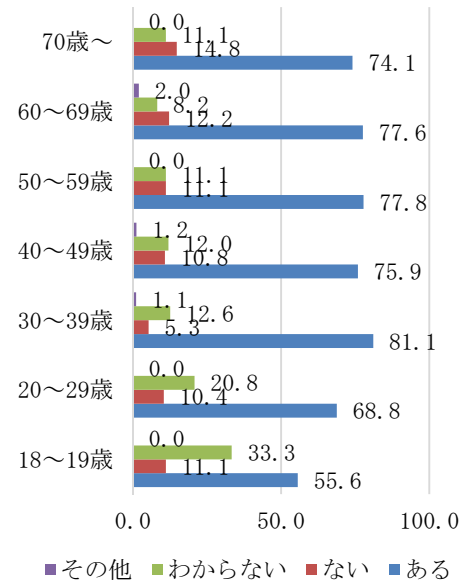
①全体 (n=374)



②性別 (n=男 158 女 216)



③年齢別



○全体では、関心があると回答した人が8割程度を占める。

○性別では、男女ともに、関心があると回答した人の割合が最も高く、男性に限っては9割程度を占める。

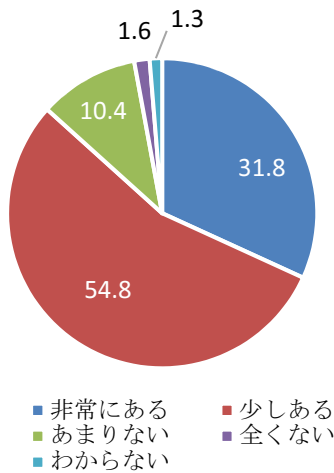
○年齢別では、年齢層を問わず、関心があると回答した割合が高い。また、18歳～19歳及び20代では、わからないと回答した人の割合が、他の年齢に比べ1割～2割程度高い。

問4-2 問4で「その他」を選択した方の内容（抜粋）

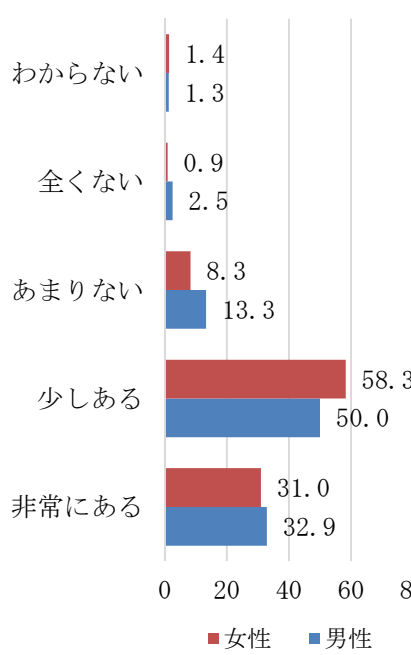
- ・関心はあるが、現実的には色々な問題点、障害があると思う。2020年代の実現には疑問を感じる。
- ・技術的には興味深い分野であるが、交通政策的な観点からは好ましく思わない。なぜなら、鉄軌道やバスなど公共交通の利便性を高めたり、区間によっては廃止されたり未成になっている鉄軌道路線を復活させることも必要だと思っているから。
- ・駅周辺の充実したコンパクトシティを目指した方がいい。昨今の高齢化が進み未曾有の災害も多く、点在して住居があるのは効率が悪い。それよりも、駅周辺に住居を構え、病院や日用品が買える店や行政サービスを整えた方が暮らしやすいと思う。

問5 自動運転車に対し、不安感や抵抗感はありますか。

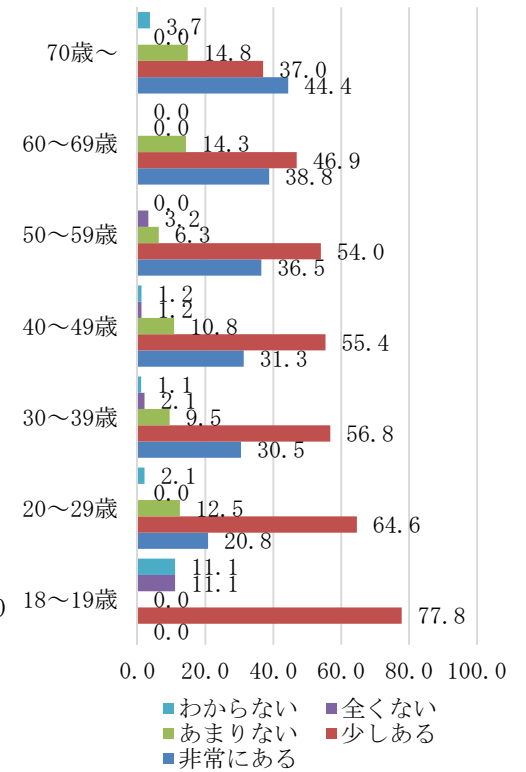
①全体 (n=374)



②性別 (n=男 158 女 216)



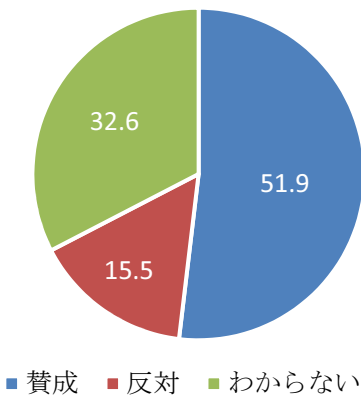
③年齢別



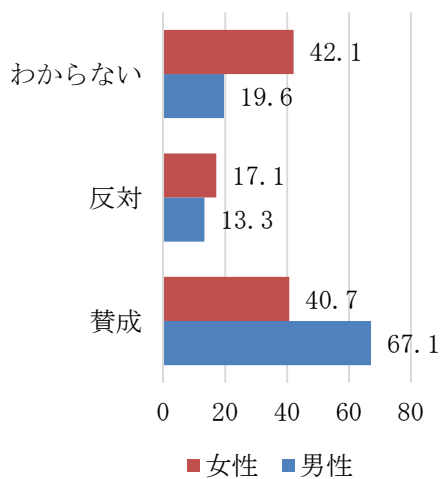
○全体では、非常にある又は少しあると回答した人が約9割を占める。
 ○性別では、大きな差はないものの、年齢別では、年齢層が高くなるにつれ、非常にあると回答した人の割合が増加する傾向にある。

問6 自動運転車を用いた公共交通を地域に導入することに賛成しますか。

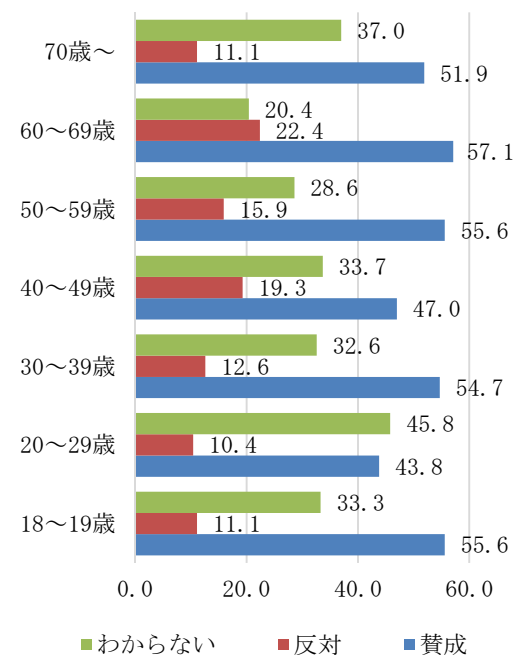
①全体 (n=374)



②性別 (n=男 158 女 216)



③年齢別



○全体では、賛成と回答した人が5割程度を占める。一方で、わからないと回答した人の割合も高く3割を超える。
 ○性別では、賛成と回答した男性の割合が7割程度と多くを占め、女性に比べ3割程度高い。女性については、わからないと回答した人が4割を超える。
 ○年齢別では、全年齢層で約半数が賛成と回答。18歳・19歳～60代までは、反対と回答した人の割合が増加する傾向。

問6-2 問6で「賛成」又は「反対」を選択した方の理由（抜粋）

①賛成と回答した人

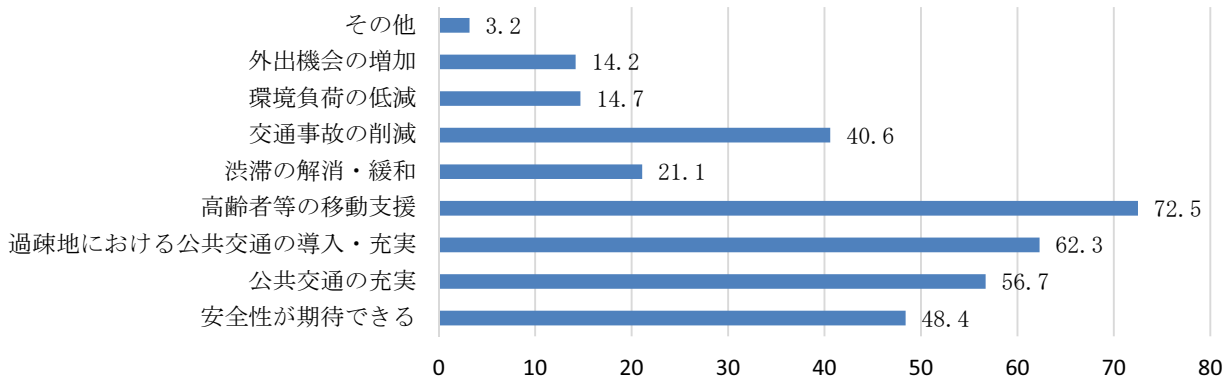
- ・高齢者の事故が増えているから。
- ・運転手の減少に対する対応として。
- ・人間の感情や体調によるヒューマンエラーが解消できるのではないかと考えるため。
- ・ペーパードライバーにとっては嬉しい。行動範囲が広がる。高齢者の買物難民も救える可能性がある。
- ・公共交通機関の運転手不足・高齢化社会の進展等の社会背景から、公共交通を維持発展させるためには、将来的に自動運転車の導入は避けられないと考える。その観点から、早め早めの実用化の実証実験が不可欠と思う。

②反対と回答した人

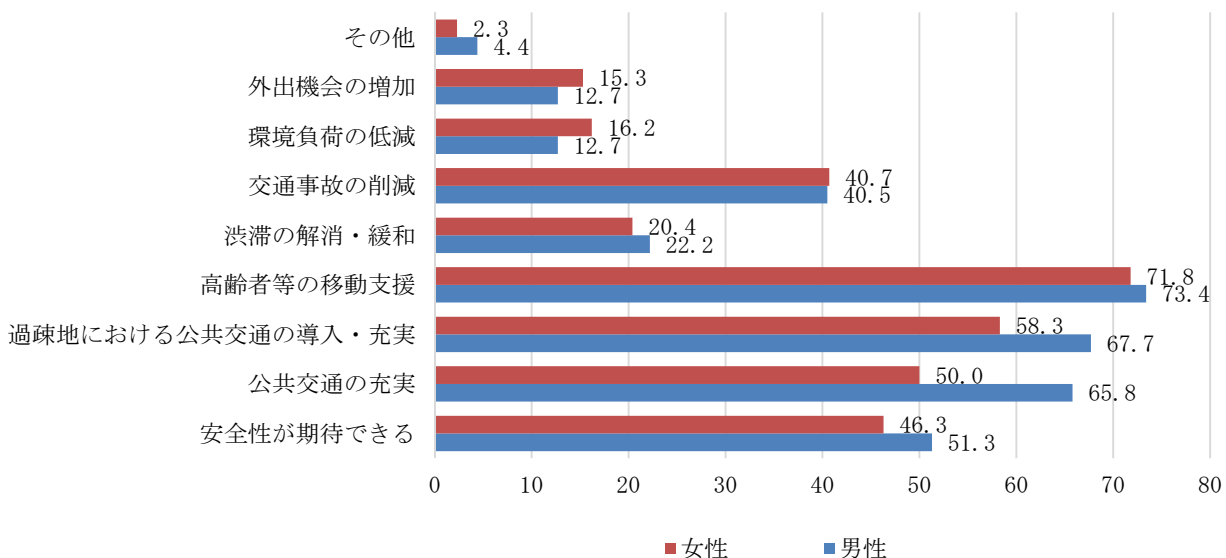
- ・事故が起きたときの責任の所在がはっきりとせず不安。
- ・まだ技術的に高水準であるとは言い切れず、多くの人を利用する公共交通で導入するにはリスクが大きいと考える。
- ・自動運転に頼っても子どもの飛び出しなど、緊急時に対応ができるのか不安。安全性が確認できないので反対。
- ・もちろん安全面に不安があるのが第一の理由ですが、益々人同士のコミュニケーションがなくなり無機質な世の中になることは好ましくない。
- ・公共交通には人との関わりは欠かせないと思う。運転手は必要。

問7 自動運転社会の期待することは何ですか。※4つまで選択

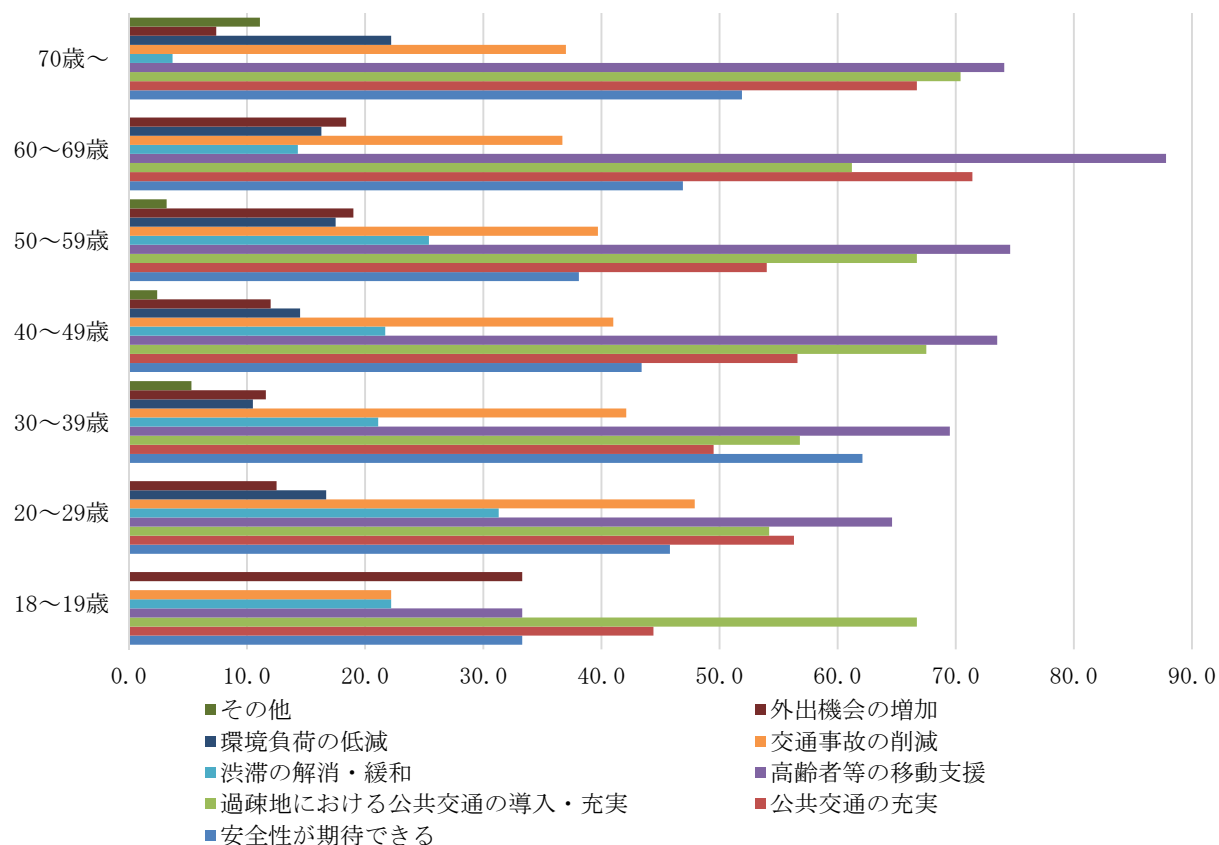
①全体（n=374）



②性別（n=男 158 女 216）



③年齢別



- 全体では、高齢者等の移動支援が7割程度、過疎地における公共交通の導入・充実が6割程度と高い割合を示す一方、外出機会の増加や環境負荷の低減、渋滞の解消・緩和と回答した人の割合は2割程度と低い。
- 性別では、全体的に大きな傾向の違いはないもの、女性に比べ男性の方が、過疎地における公共交通の導入・充実、公共交通の充実と回答した人の割合が高い。
- 年齢別では、全年齢層で、過疎地における公共交通の導入・充実と回答した人の割合が高く5割を超える。また、年齢層が高くなるにつれて、高齢者の移手段と回答した人の割合が増加する一方で、交通事故の削減と回答した人の割合は減少する傾向。

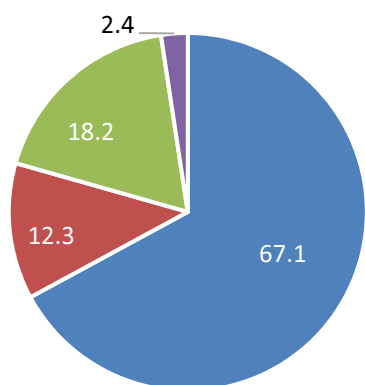
問7-2 問7で「その他」を選択した方の内容（抜粋）

- ・自動運転社会は、人間の期待に反して事故が増えると思う。
- ・自動運転は運転する人のサポート的な役割だと思う。
- ・ペーパードライバーで運転に自信がないため運転していないが、自動運転であれば自分の運転より安心出来る。

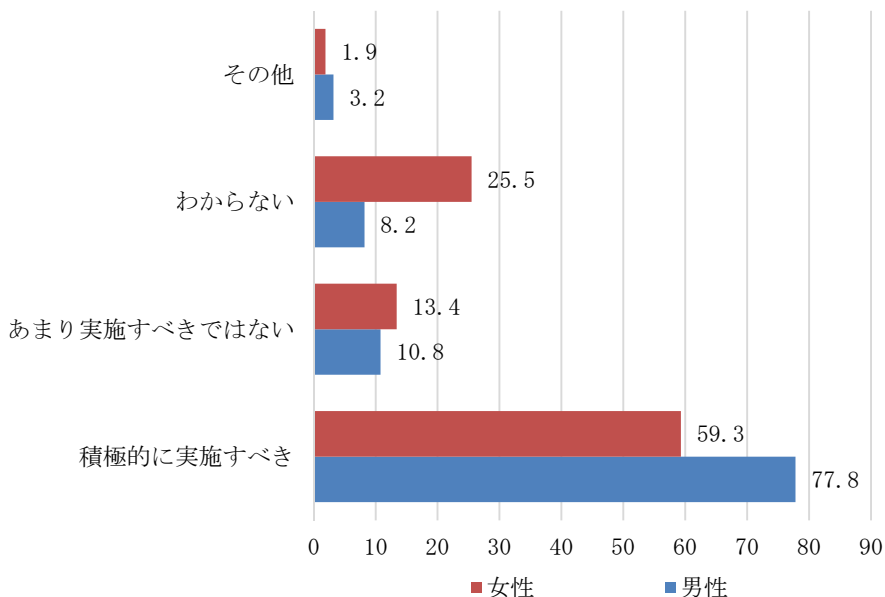
問8 自動運転車による実証実験を本県で実施することについてどう思いますか。

①全体 (n=374)

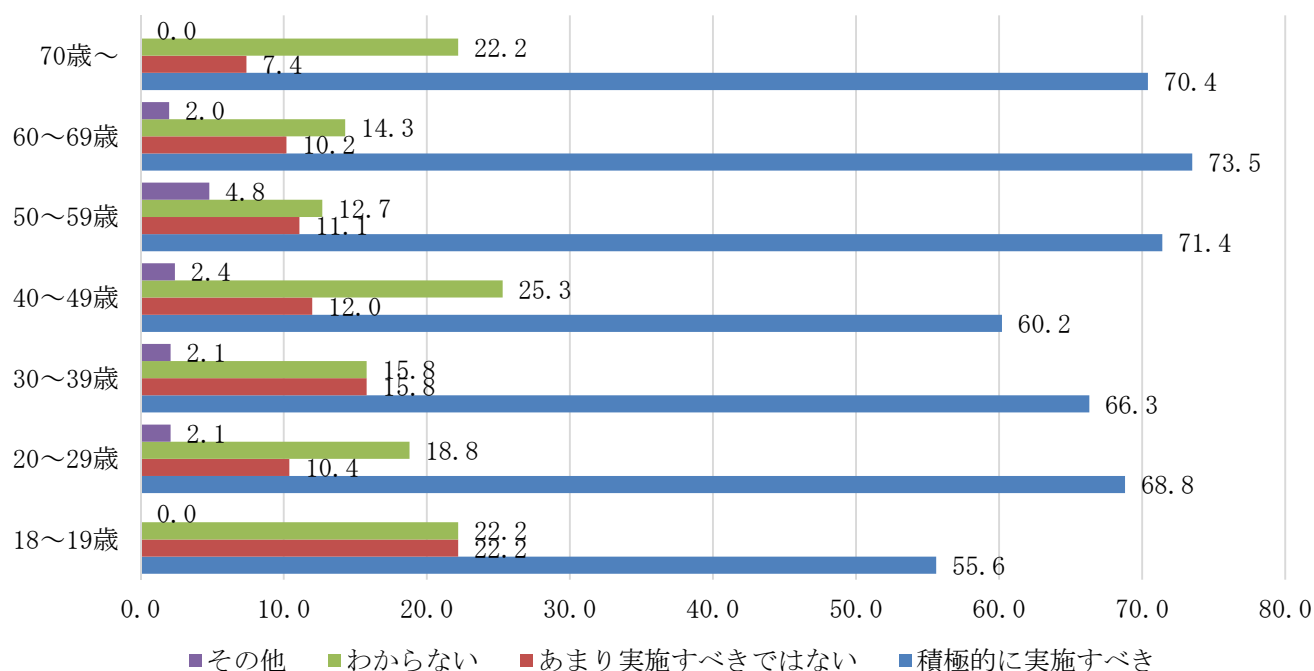
②性別 (n=158 女 216)



■ 積極的に実施すべき
■ あまり実施すべきではない
■ わからない
■ その他



③年齢別



■ その他 ■ わからない ■ あまり実施すべきではない ■ 積極的に実施すべき

○全体では、積極的に実施すべきと回答した人が7割程度を占める。
○性別では、積極的に実施すべきと回答した男性の割合が、女性に比べ2割程度高い。また、女性では、わからないと回答した人が3割程度を占め、男性に比べると2割程度高い。
○年齢別では、全年齢層で、積極的に実施すべきと回答した人の割合が高く5割を超える。また、年齢層が高くなるにつれて、あまり実施すべきではないと回答した人の割合が減少する傾向。

問8-2 問8で「その他」を選択した方の内容 (抜粋)

- ・実施すべきだと思うが、実証実験のエリア選定を慎重にしてほしい。
- ・安全性が完全に保障されるのであれば実施すべき。ただし、交通量の少ないエリアから徐々に。
- ・安全性をどこまで担保すべきか、事前に明確化し、広くコンセンサスを得ておくべき。
- ・被害の出ない場所で何度も検証し、どんな場合でも安全であると証明されたらいいと思う。
- ・実証実験は他県に任せて、本県で急を要する案件に力を注いでほしい。

問9 自動運転について、これまでの設問以外に意見がありますか。

- 1 ある 89人
2 特にない 285人

問9-2 問9で「ある」を選択した方の内容（抜粋）

- ・故障による暴走などの事故をどう防ぐのか、対策が不明。乗客が緊急停止などの操作が可能か分からない。
- ・まずは、自動運転について、市民のイメージや意識もそれぞれだと思うので、国や県、市が進めようとしている案を知らせ、議論できるように広めてほしい。知らぬ間に勝手に決まってしまう！という意識を生まないように、計画的に広く知らせて意見を吸いあげて、よりよい街づくりを進めてほしい。
- ・道路の整備等に、更に税金投入が考えられる。
- ・日本では公道を使った実証実験が難しいと聞いたことがある。福岡県というくくりだけでなく全国規模でより多く実証実験を行われるような環境になればいいと思う。そして、安全安心な自動運転が早く社会に普及してくれる事を望む。
- ・交通ルールに従った自動運転は実現するであろうが、円滑な交通の流れは制限速度以上で流れているので、交通渋滞などが起きる可能性がある。また譲り合い（または逆）などについては自動運転が未対応と聞いている。
- ・自動運転の詳細が一般市民はよく理解できていないと思われる。詳細説明を広報しないと賛否を聞かれても分からないのが現実ではないのかと思われる。どんな仕組みで安全安心であるという事を広く知らしめることをまずはやって欲しい。
- ・例えば、昨今の猛暑など小学生でも倒れて、死亡した例がある。今後、どんどん自動運転バスを充実させて、夏など、天候や温度が子供に不適切な場合、送迎を考えるなど、高齢化だけではなく、弱者、障害者、幼稚園小学生通学などへの適用の柔軟性を持つ時代が来ていると思う。
- ・県民が安心出来る様に何回もテスト走行をして欲しいのと、結果を県民に公表して導入には慎重になって頂きたい。
- ・公共交通を地域に導入することに賛成したいが、安全面についてははっきりわからないので現時点では「わからない」と回答した。実証実験を本県で実施することは賛成で将来的に導入されるきっかけになれば良いと思う
- ・自動運転の実証実験を行うならば、導入と直結しそうなエリアで行うべきだと思う。また、一般車との接触が極力少ない形での検証から始めるべきだと思う。
- ・自動運転を導入されるのであれば、操作できる年齢や資格など法の整備をきちんとしてほしい。
- ・自動運転車側の視点ではなく、周りの車や人が同じ空間でどう共存していくか？みんなが、自動運転車の事を理解できるか不安。
- ・実証実験は賛成ですが、使えない場合もある想定で、予算配分（無駄金になる可能性）に対し県民の理解が必要かと思う。鳴り物入りで始めても、昔のセグウェイみたいに期待外れなケースや、リアモーターカーの様に陰しい道りになるかもしれません。ただ福岡県は九州のオピニオンリーダーですから、それでも新しい事に挑戦すべき。
- ・自動運転によって、雇用が奪われないか心配（求人しても埋めきれない部分（例えば人件費が見込めない路線に参入させるなど）が自動運転になるのは賛成）。
- ・団塊の世代が後期高齢者に入る頃には、多数の高齢ドライバーによる事故が懸念される、ある程度自動運転が認知されると事故の削減が期待されると思う。
- ・まだまだ国民が知識不足、理解不足。自動運転が広がる社会は魅力的だが不安の方が大きい。自動運転のメリットデメリットをもっと周知するべき。